



№1065 発行  
2022年  
3月25日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
清野 聡  
編集責任者  
教 宣 部



# 東日本はベアゼロ・貨物はベア0・1%

2022年度4月1日以降の賃金改善等についての申し入れに対し3月17日、それぞれ会社から回答がありました。

## 2年連続ベアゼロ

JR東日本は2年連続のベアゼロ、会社は「足元の経営動向を踏まえ中長期的な見通しに基づいて極めて慎重に判断した」として①定期昇給については実施し、その「昇給係数については4とする」（令和4年4月1日現在、満55歳未満の社員）とした回答内容を示してきました。

## 賃金改善に依っていない

組合としては「今回答は、この間の交渉の中で、会社が『赤字であれば0が普通だが、様々な状況を勘案し、総合的に判断する』としていたことや『今の状況が良いとは思っていない』『あつてはならない』という考え方を示していたことから判断と受け止める。

ベースアップや55歳以上やエルダー社員の賃金改善等には応えていない」ことから持ち帰り検討とし18日妥結整理を図りました

## 貨物の低額回答に強く抗議



会社は、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う景気の停滞、オミクロン株による感染者の急増、「まん延防止等



重点措置」が全国的に適用され厳しい状況にある。自然災害や貨物列車の脱線などの影響があった。社員の皆さんの協力のもと早期の復旧作業や代替輸送等の収入確保に努めて頂き感謝している。

「定期昇給を実施するとともに、2022年7月1日現在（昇給前）上の基本給に0・1%（平均300円）乗じた額を加える」との回答を行いました。

## 減収を社員に転嫁するものではない

国労本部は、今回の回答は「有額回答」であるものの「低額回答」そのものであり、社員と家族の生活改善には程遠く、自然災害やコロナ禍による減収を社員に転嫁すべきではないと抗議しました。

本部は「低額回答」に対し強く抗議するとともに、本日の回答の取り扱いについて「持ち帰り」とし交渉を終了しました。24日に妥結整理を図りました。

## 編集後記

●3月21日は春分の日ですが、なかなか、暖かくなりません。暑さ寒さも彼岸までと言いますが今年は特に寒く感じます。



■まん延防止措置がすべての都道府県で21日解除になりました。まだ感染者数が減少していません。飲食店など厳しい状況になっていますので解除に踏み切ったのでしょうか。

▲近くの酒屋さんへ酒を買いに行った時、店の人は、全く売れないので今年中に店を閉めようかと思っていると話していました。飲食店は特に厳しい状況で営業をやめた店があると話していました。

●次号から「ちよつといっぷく」を再開します。今月、津南へ行きます。また、いろいろな出逢いがあるかもしれません。

新しい曲も何曲かできました。津南の方々に聴いていただきたいと思っています。



## 93総がかりメーデー 新潟県中央集会

- 5月1日（日）
- 開場 9時30分
- 集会 10時から11時
- デモ行進  
11時10分から11時40分

○総がかりメーデーの参加団体  
○全港湾労組・自治労全国一般  
新潟地区労会議・県労連  
第3回メーデー実行委員会は4月5日に開催し当日の企画内容が決定します。



# ちよつといっぶく

津南へ行ってきました。道路は除雪されていて、雪は全くありませんが、道路の脇は3メートル以上の雪が積もられていました。

バス停が埋まっている

今年は4メートル19センチの積雪でした。その日は午前中、雪が降りました。

地元の人は「これぐらいの雪は積もらないよ」と話していました。午後から青空が出て素晴らしい天気に戻りました。



写真はバス停ですが雪で埋まっています。歩道は除雪されていますが反対側の歩道は雪で埋まっています。



いつも寄る店

津南では、必ず寄る店があります。それは「蔵カフェ」そして「ママの店」（ケーキ屋さん）少し休んでいると「ママの店」の方が「好きに唄って良いよ」といつも話してくれます。



津南の思いを曲に

そして、いろいろ、今まで作った曲を練習します。もちろんお客さんは居ません。

次に寄るのは、「蔵カフェ」です。



ここもスタッフの方が、どうぞ唄ってくださいと話してくれます。ここでも、何曲か練習もかねて唄いました。どちらの店も反響してとっ

## 分代&組織強化・拡大対策委員会

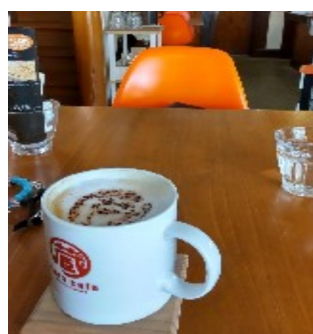
- 4月9日（土）
- 13時から
- 地本 会議室



○コロナ感染拡大が収束していませんが、感染拡大防止に万全の体制で開催します。



ても唄いやすいです。たまに、お客さんが来ると、何か唄ってくださいと・・・曲はすべてオリジナルで津南の思いを唄った曲なので、少しでもわかって欲しいと思います唄います。



地酒・地元の食材

そして「しなの荘」です。女将さんには大変お世話になっていきます。温泉がとっても良くて、すごく温まります。

料理は、地産地消で地元の食材で作られています。とっても美味しいです。

そして、日本酒は津南醸造の「霧の塔」は辛口でコクがあって最高です。

津南町には二つの蔵元がありもう一軒は「苗場山」です。宿ではどちらの酒も楽しむことができます。利き酒もあります。



津南町は、私にとって感動的なところでした。住んでいる方々が、とっても温かいです。いつも新しい出逢いがありますが、初めて逢う私に対しても親しく話してくれます。

会話から詞ができる  
曲が生まれる

その会話から・・・詞が出来てそして曲が生まれてきます。いつも津南へ行くとなると必ず曲ができます。ただ、才能が無いので、曲想がかわりばえしませんので、みんな同じように聴こえるかもしれません。そこが一番厳しいところで私にとっての課題です



また、来月もどこかへ行きたいですね。

これから春になり津南や栄村（秋山郷）も雪解けになり、そして山菜・桜の開花など季節は冬から春へ移ります。来月、楽しみです。

「ちよつといっぶく」今回は特集になりました。最後まで読んでいただいてありがとうございます。